



発行／社会福祉法人一羊会
事務局／〒六六三―八二四一 西宮市津門大塚町一―四七 電話(〇七九八)三二―七六〇 FAX(〇七九八)三二―七六三

一羊会だより



一羊会ホームページ
へはこちらから



理事長・部長のあいさつ



理事長
市原 博

平素より、一羊会の活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

私が理事長に就任して、5か月が過ぎました。

これまで外部理事、副理事長として法人運営に携わってまいりましたが、前古川理事長の逝去に伴い、このたび理事長を務めることとなりました。前理事長が掲げてこられた「利

• 用者の皆さんのため、そして職員のため、将来にわたり持続可能な法人を目指し、改革していく」という思いを受け継ぎ、その実現に向けて法人改革を着実に進め、将来にわたって安定した法人を築いていくことが私の使命だと考えています。

• 私が目指すのは、利用者の皆さんを大切にし、職員が安心して働ける環境を整え、法人・職員・利用者が同じ方向を向いて歩んでいける法人です。その実現には、多くの職員の力が欠かせません。部長や所長をはじめ、職員一人ひとりの知恵や経験を生かしながら、より良い法人をともにつくっていきたいと思います。職員の皆様には、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

• 話は変わりますが、今年度の改革の柱であるグループホーム建設の進捗をご報告いたします。資材価格の高騰や工事の遅延も懸念されましたが、現在のところ大きな影響はなく、工事は順調に進んでいます。6月30日に上棟式を終え、7月上旬には中間建物検査も無事終了しました。当初の予定よりやや遅れはあるものの、10月末から11月上旬の完成を見込んでいます。完成後には見学会も予定しておりますので、ぜひお気軽にご参加ください。

• 最後にになりますが、今後とも一羊会のさらなる発展に向け、皆様の変わりぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



部長
秋山 健一

“働く”を支えるということ・・・

私たちが障害のある方の「働く」を支えるとき、大切なのは『法定雇用率』などの数字にとらわれすぎないということです。数字に囚われすぎてしまうことが、今巷で話題になっている法定雇用率の達成のためだけに障害者を遠隔地で雇用する『障害者の雇用代行ビジネス』の横行の一因となるのではないかと考えます。

では、私たちは何にフォーカスして『利用者の働く＝就労支援』と向き合っていく必要があるのでしょうか。その前に、そもそも『就労支援』とは何かを考える必要があるように思います。

『就労支援』を考える時に大事だと改めて考えさせられるエピソードがありましたので、少し紹介します。11月に開

• 催される就労支援フォーラムの実行委員として、準備のための打ち合わせに参加をさせていただいていました。その打ち合わせには、フォーラム当日に登壇する厚生労働省就労選択支援専門官の鈴木様も参加をされました。専門官も交えた打ち合わせの中で、「就労選択支援も含めて、就労支援は雇用と福祉の間に位置する架け橋である」という発言がありました。日々現場で支援に当たっていると目の前の支援に意識が行ってしまい、日々の支援を積み重ねた延長線上に社会での就労があるということが意識しにくい状況にあると思います。しかし、『架け橋』である就労支援は施設だけで完結させられるものではなく、社会とのつながりを意識して支援を組み立てる必要があることを改めて感じました。

• では、その就労支援を進めていくうえで大事になるもの、それは、『アセスメント』ではないかと思っています。このアセスメントは就労支援だから大事ということではなく、個別支援計画を進めていくうえでは不可欠なものです。個別支援計画のPDCAを丁寧に進めることは、利用者個々の特性に応じた配慮につながり、結果として成功体験を積み重ねることで、達成感や自己肯定感を感じてもらえる機会になると思います。

• 工賃が高いことを否定はしませんし、年金と工賃で生活できるようにすることを目指すのは一つの形であるかもしれませんが、しかし、『目的』が何かを忘れないことが大事になると思います。丁寧なアセスメントを行い続けることで、『就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練、その他必要な支援を行い(障害福祉のサービス内容より)』、利用者個々の自信を育み、自分で決めてよいという意味表出につながっていくことを重ねていき、その結果として高い工賃につなげる様な『雇用と福祉の間の架け橋』である就労支援を法人としては大事にしなければならないのではないかと思います。

『働く』を支える取り組み

ワンルームマンション清掃編

すずかけ第2作業所

矢倉 義久さん



ワンルームマンション共用部の清掃で、廊下のモップ掛けを担当する矢倉さんは、胸ポケットに入れた作業工程の手順書を確認しながら、一人で作業を進めます。モップが掛けられていない箇所や体の使い方などは、必要に応じて職員が声を掛けながら確認します。もともと作業への意欲が高く、真面目で勤勉な矢倉さん。手順を確認しながら進める現在の方法が本人に合っており、落ち着いて作業に取り組んでいます。



上甲子園すずかけ作業所

井上 絵梨奈さん



出発前には、絵カードを使って乗車する車と作業内容を確認し、自発的に車へ乗り込んで作業に向かえるよう支援しています。

矢倉さんと同じく、ワンルームマンション共用部の清掃で廊下のモップ掛けを担当する井上絵梨奈さんも、水を入れたバケツを持って各階を回り、一人で作業を進めています。

作業中は各階でモップを濡らして絞りながら清掃を行い、作業を終えて戻ってきた後は、職員が用意した別のバケツの水でモップを5回すすぎ、職員と状態を確認してから片付けています。今後はバケツの水の準備から後片付けまで、一人で行えるよう支援を進めています。

一人ひとりの得意なことや特性に合わせた支援が、それぞれの力を発揮しながら働き続けられることにつながっています。

あとリエ すずかけ 新聞

第35便 2026. 9
撮影／編集：神田 浩平



あとリエすずかけ夏の雑貨展

今年も7月に『あとリエすずかけ夏の雑貨展』を開催しました。4日間を通して、本当にたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

作業所がお休みだった土曜日には、写真の富塚さんや森本さんをはじめ、あとリエすずかけのメンバーも来場され、お客さんと交流したり、カフェでゆっくり過ごしたりと、それぞれ楽しまれていました。

会場では、「どっちにしよう」と笑顔で迷ったり、思わず笑い声があがったりと、商品選びそのものを楽しんでくださるお客さんの姿がとても印象的でした。あとリエすずかけには、下描きをせず、一発勝負で描かれた絵や文字など、手描きならではの魅力が詰まった商品が数多くあります。そうして生まれた品々が、それぞれ新しい持ち主のもとへと旅立っていく様子を、スタッフ一同、うれしい気持ちで見送っていました。

来年の雑貨展でも、たくさんの方に商品や作家との出会いを楽しんでいただけるよう、メンバーの皆さんとともに活動を続けていきたいと思ひます。



フライヤーの絵と文字を描いてくれたのは、仁田葉月さん

すずかけ絵画クラブより

「Portrait`66~`91 by Tadanori Yokoo」より三船敏郎Ⅱ

西面 秀明



2025年5月から、すずかけ絵画クラブに復帰した西面さんの最新作です。

刀を交える武士たちの緊迫した場面が、西面さんらしい柔らかなタッチで描かれた作品です。

20年近いブランクを感じさせない集中力で、制作に取り組まれています。

「自動車の展開図」 新田 隆作



近年の新田さんは、乗り物の展開図や、電子機器の分解されたパーツなどを描いています。

同系色を近くに配色するのが新田さんのスタイル。ポスカ、クレヨン、水彩絵の具を組み合わせ、画面いっぱい力強い色彩を塗り広げています。



2025年度は、法人の持続的な発展と事業継続性のさらなる向上を目指し、新たな組織体制（組織機構、キャリアパス、人事考課、および賃金制度）の構築に向けた検討を重ね、2026年度からの施行に至りました。また、次なる成長への指針となる「第7次マスタープラン」を策定しました。グループホームの再編統合については、新グループホームの建築に向けて計画を進めました。

権利擁護に関する取り組みについては、「権利擁護及び虐待防止プロジェクト」を中心に進めました。

1 経営の強化

（1）経営改善

- 事業の統合再編等見直しについては、グループホームの男性ホームの再編統合に向けて進めました。移動支援については、西宮市に市長要望として単価の見直しを要望しましたが、不可の回答があり、2026年度に事業の継続を検討します
- Teamsの承認機能を使い決裁書をオンラインで起案する仕組みに2026年2月より変更しました。勤怠管理や記録ソフトについては、業者より説明を受け検討を行いました。
- 西宮市法人指導課の運営指導のタイミングに合わせて、個別支援計画書やその他必要書類の整理を行いました。
- 寄付活動の拡大は取り組めませんでした。
- 金融機関数社から資金調達や資産運用についての説明を受ける機会を作りました。

（2）経営力の向上

- 課長全員が県社協主催の会計基礎講座を受講し、基礎的な理解を深めました。
- 補正予算のタイミングで本部によるヒアリングを実施しました。特に保守や委託業務に関して管理状況の確認をしました。これらの定例的な支出は、正確な把握により計画通りの執行が可能であるとの認識のもと、各部署で情報をリスト化し、予算を意識した進捗管理を行うことの必要性を確認しました。

（3）組織体制の強化

- (株)日本経営とコンサルティング契約を交わし、

2026年4月より新たな人事制度を運用できるように構築を進めました。

- 生活支援場面の支援体制が厳しい状況が続いていたため、法人全体で体制の安定に向けて取り組みました。

（4）危機管理

- リスクマネジメント分科会が中心となり、スケジュールの把握を進めました。
- 理事長をトップとした虐待防止プロジェクトを設置し、各事業所の取り組みを表彰しました。
- ハラスメント研修は、課長以上の役職者が受講し、ハラスメントに関する理解を深めました。
- カスタマーハラスメントに関する内容を盛り込んだ利用契約書を全事業所で統一しました。

2 人材育成・定着

（1）人材確保

- 人材確保の為の情報発信については、就職フェアへの出展、法人HPやSNS、掲載型の求人媒体などを用いた情報の発信を行いました。新卒正職員3名、中途正職員5名を採用しています。
- 外国人人材の雇用については、一羊園で新たに4名を採用しました。

（2）人材育成と定着

- 国の処遇改善加算支給要件に即して処遇改善計画を立案し、職員の処遇向上につなげまし

た。

- キャリアパスと人事制度の見直しについては、日本経営とのコンサルティング契約の中で議論を重ね、2026年度より運用を開始しました。運用開始後も必要に応じて見直しを実施していきます。
- 限定正職のモニタリングは未実施。

3 専門性の向上

(1) 法人内での支援のコンサルテーションの継続

- 川崎医療福祉大学の重松先生のコンサルテーションを3事業所（一羊園・武庫川すずかけ作業所・カノン）において、のべ年7回実施しました。
- その3事業所において、人材育成担当部長が利用者支援会議に参加したり、アセスメントツールを用いて利用者の理解度を客観的に評価したり、その場にサービス向上分科会員（サービス管理責任者）複数名が参加する研修の機会ともしました。

(2) 資格取得の研修の受講推進

各事業所で資格取得を進めました。

(3) 法人内研修その他、支援に必要な研修の実施

- 義務化された虐待防止・感染症など法定研修は進捗状況をサービス管理責任者会議（リスクマネジメント分科会・権利擁護分科会）で行い、各事業所での進捗確認を行いました。
- その他、職員間のコミュニケーションやストレスマネジメント、個別支援計画書の作成に関する内容を県内4法人と共同開催、心理検査のスーパーバイズなどを行いました。

4 利用者のニーズに応じたサービスの充実

(1) 就労継続支援B型の改善

- 通所事業所の管理者が集まり、合同会議として実施し、上甲子園すずかけ作業所とすずかけ労働センターの整理統合を中心テーマとしました。その一方で生活介護の機能分化については2026年度への持ち越しとなりました。
- 運営指導を受けて西宮市法人指導課より、生活介護事業の施設外就労についての口頭での

指摘事項は、2026年度に持ち越しとなりました。

(2) 生活介護の改善

生活介護で作業療法士による利用者の状況把握の機会を作り、活動内容やリハビリメニューの構築を行いました。また、利用者の状態に応じた支援が提供できるように、看護師と連携しました。

(3) 生活施設の改善

- 一羊園の見守りセンサーについては、他法人の情報収集を行いました。今後は業者2社からの見積り、デモンストレーションを予定しており、導入に向けて具体的に取り組みます。ユニット化後の活動については、ガーデニング活動をするために中庭やバルコニーに花壇や柵を作りました。また、グループリハビリや本人の強みや得意を生かした取り組みを実施しましたが、十分には至っておらず、回数を増やしていけるよう体制等の検討を進めます。
- グループホームは、男性ホームの再編と統合に向けて、新規グループホームの建築計画を進めました。2025年度中に建築業者も決定し、2026年度4月より着工しています。

(4) 児童

- アセスメント向上のための研修は、その開催自体が見送られたため参加できませんでした。サービス向上分科会において同様のアセスメント方法を学ぶ機会を作り、児童担当の職員も参加しました。
- カノン今津の跡地はジョイントホーム事業課の職員事務所として使用することが決定しました。
- カノン利用者1名が法人内成人通所事業所を利用することとなり、支援に関する引継ぎを行いました。

(5) 地域支援

居宅支援事業では、利用者ニーズに対して、可能な限り柔軟に対応することで、利用率の向上につながりました。相談支援は、適切な計画相談支援を実施するための管理体制を整備し、IT機器を導入することで事務効率化を図りました。また、算定可能な体制加算を取得することで収支改善につなげました。

5

利用者の権利擁護と意思決定支援の充実

2024年12月に設置した「権利擁護及び虐待防止プロジェクト」を2025年度中も継続し、一定の成果を得られたとして2025年度末をもって終結しました。呼称の在り方、各事業所での取り組みの進捗把握、人材育成方針や行動規範（支援の自己評価）の内容の見直し、虐待防止に関わる研修を実施しました。集大成として全事業所の権利擁護に関する取り組みを書面にまとめました。まとめた各事業所の取り組みに対して全職員が投票し、その結果を基に職員全体研修で表彰しました。



6

地域連携

- ほっとかへんネットへの参画を継続しました。
- 各事業所が地域との繋がりの中で、自主製品の販売の機会を持つことができました。
- 社会福祉士実習、保育士実習、トライやるウィークの受け入れなどを可能な範囲で積極的におこないました。
- 地域の人材育成については、兵庫県が実施する法定研修への講師派遣や、兵庫県及び大阪府下の障害児者施設から依頼を受けて、講師派遣やコンサルテーションを行いました。
- 障害児等療育支援事業において外来（相談受付）・訪問・施設支援を実施。地域の関係者及び住民に向けた発達障害当事者と大学講師による講演会を実施しました。
- 実践発表会を2025年度も開催し、日々の取り組みを多くの方に知ってもらう機会となりました。

2025年度 法人単位資金収支計算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日 (単位：円)

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	128,163,000	130,927,281	- 2,764,281	
	障害福祉サービス等事業収入	1,318,983,000	1,319,812,593	- 829,593	
	経常経費寄附金収入	3,751,000	3,880,216	- 129,216	
	受取利息配当金収入	187,000	321,942	- 134,942	
	その他の収入	10,877,000	10,892,917	- 15,917	
	事業活動収入計 (1)	1,461,961,000	1,465,834,949	- 3,873,949	
	支出				
	人件費支出	947,852,000	940,926,284	6,925,716	
	事業費支出	155,954,000	150,743,426	5,210,574	
施設整備等による収支	事務費支出	179,460,000	173,093,734	6,366,266	
	就労支援事業支出	125,417,000	126,356,899	- 939,899	
	支払利息支出	563,000	514,044	48,956	
	その他の支出	5,270,000	5,127,939	142,061	
	事業活動支出計 (2)	1,414,516,000	1,396,762,326	17,753,674	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	47,445,000	69,072,623	- 21,627,623	
	収入				
	施設整備等補助金収入	380,000	380,000	0	
	施設整備等収入計 (4)	380,000	380,000	0	
	支出				
その他の活動による収支	設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	6,072,000	0	
	固定資産取得支出	170,227,000	95,489,278	74,737,722	
	ファイナンスリース債務の返済支出	3,791,000	3,783,252	7,748	
	施設整備等支出計 (5)	180,090,000	105,344,530	74,745,470	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	- 179,710,000	- 104,964,530	- 74,745,470	
	収入				
	積立資産取崩収入	42,240,000	43,680,000	- 1,440,000	
	その他の活動による収入	14,393,000	14,330,036	62,964	
	その他の活動収入計 (7)	56,633,000	58,010,036	- 1,377,036	
	支出				
	積立資産支出	10,479,000	13,498,113	- 3,019,113	
予備費支出 (10)	その他の活動による支出	0	0	0	
	その他の活動支出計 (8)	10,479,000	13,498,113	- 3,019,113	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	46,154,000	44,511,923	1,642,077	
	予備費支出 (10)	7,600,000 - 809,000	-	6,791,000	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	- 92,902,000	8,620,016	- 101,522,016	
	前期末支払資金残高 (12)	422,259,794	422,259,794	0	
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	329,357,794	430,879,810	- 101,522,016	

2025年度 法人単位事業活動計算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日 (単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	130,927,281	128,795,318	2,131,963
		障害福祉サービス等事業収益	1,319,812,593	1,332,365,843	－ 12,553,250
		経常経費寄附金収益	3,880,216	3,937,636	－ 57,420
		その他の収益	1,534,495	1,511,127	23,368
		サービス活動収益計 (1)	1,456,154,585	1,466,609,924	－ 10,455,339
	費 用	人件費	943,670,276	955,283,425	－ 11,613,149
		事業費	150,743,426	146,365,664	4,377,762
		事務費	173,093,734	166,429,262	6,664,472
		就労支援事業費用	128,127,995	128,531,006	－ 403,011
		減価償却費	100,277,354	100,050,869	226,485
国庫補助金等特別積立金取崩額	－ 46,029,168	－ 45,496,599	－ 532,569		
サービス活動費用計 (2)		1,449,883,617	1,451,163,627	－ 1,280,010	
サービス活動増減差額 (3)＝(1)－(2)		6,270,968	15,446,297	－ 9,175,329	
サービス活動外増減の部	収 益	受取利息配当金収益	321,942	33,554	288,388
		その他のサービス活動外収益	15,845,296	8,774,333	7,070,963
		サービス活動外収益計 (4)	16,167,238	8,807,887	7,359,351
	費 用	支払利息	514,044	509,871	4,173
		その他のサービス活動外費用	6,238,184	5,670,280	567,904
	サービス活動外費用計 (5)		6,752,228	6,180,151	572,077
サービス活動外増減差額 (6)＝(4)－(5)		9,415,010	2,627,736	6,787,274	
経常増減差額 (7)＝(3)＋(6)		15,685,978	18,074,033	－ 2,388,055	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	380,000	870,000	－ 490,000
		固定資産売却益	0	209,998	－ 209,998
		特別収益計 (8)	380,000	1,079,998	－ 699,998
	費 用	固定資産売却損・処分損	32	7,402,674	－ 7,402,642
		国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)	0	187,500	187,500
		国庫補助金等特別積立金積立額	380,000	1,150,000	－ 770,000
特別費用計 (9)		380,032	8,365,174	－ 7,985,142	
特別増減差額 (10)＝(8)－(9)		－ 32	－ 7,285,176	7,285,144	
税引前当期活動増減差額 (11)＝(7)＋(10)		15,685,946	10,788,857	4,897,089	
法人税、住民税及び事業税 (12)		47,800	0	47,800	
当期活動増減差額 (13)＝(11)－(12)		15,638,146	10,788,857	4,849,289	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (14)		936,051,509	926,522,652	9,528,857
	当期末繰越活動増減差額 (15)＝(13)＋(14)		951,689,655	937,311,509	14,378,146
	基本金取崩額 (16)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (17)		43,680,000	0	43,680,000
	その他の積立金積立額 (18)		3,528,687	1,260,000	2,268,687
	次期繰越活動増減差額 (19)＝(15)＋(16)＋(17)－(18)		991,840,968	936,051,509	55,789,459

2025年度 法人単位貸借対照表

2026年3月31日現在 (単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	521,946,718	500,102,465	21,844,253	流動負債	136,259,344	120,974,784	15,284,560
現金預金	271,030,489	252,808,830	18,221,659	事業未払金	85,163,859	71,177,569	13,986,290
事業未収金	221,638,020	220,531,786	1,106,234	1年以内返済予定設備資金借入金	6,072,000	6,072,000	0
未収補助金	5,817,779	6,611,189	－ 793,410	1年以内返済予定リース債務	3,767,868	3,767,868	0
貯蔵品	15,058	6,258	8,800	未払費用	0	24,420	－ 24,420
商品・製品	789,031	659,240	129,791	預り金	2,897,295	3,232,347	－ 335,052
仕掛品	211,583	237,939	－ 26,356	仮受金	1,742	0	1,742
原材料	1,972,818	2,480,576	－ 507,758	前受金	30,580	30,580	0
立替金	2,619,575	1,626,602	992,973	賞与引当金	38,326,000	36,670,000	1,656,000
前払金	10,106,067	8,032,330	2,073,737	固定負債	264,535,416	273,112,736	－ 8,577,320
仮払金	7,746,298	7,107,715	638,583	設備資金借入金	97,021,000	103,093,000	－ 6,072,000
固定資産	1,865,944,282	1,911,123,917	－ 45,179,635	リース債務	5,542,345	9,325,597	－ 3,783,252
基本財産	1,281,551,275	1,283,045,169	－ 1,493,894	退職給付引当金	161,972,071	160,694,139	1,277,932
土地	311,703,100	240,703,100	71,000,000	負債の部合計	400,794,760	394,087,520	6,707,240
建物	969,848,175	1,042,342,069	－ 72,493,894	純資産の部			
その他の固定資産	584,393,007	628,078,748	－ 43,685,741	基本金	267,316,507	267,316,507	0
土地	31,725	31,725	0	国庫補助金等特別積立金	422,040,078	467,720,846	－ 45,680,768
建物	53,396,671	56,691,394	－ 3,294,723	その他の積立金	305,898,687	346,050,000	－ 40,151,313
構築物	40,930,837	47,748,956	－ 6,818,119	施設整備等積立金	170,580,000	202,580,000	－ 32,000,000
機械及び装置	16	12,655	－ 12,639	修繕積立金	50,940,000	56,940,000	－ 6,000,000
車輦運搬具	5,877,799	6,740,893	－ 863,094	備品等購入積立金	28,970,000	28,970,000	0
器具及び備品	26,454,765	28,399,700	－ 1,944,935	工賃変動積立金	29,423,687	26,615,000	2,808,687
建設仮勘定	11,835,750	1,424,500	10,411,250	設備等整備積立金	25,985,000	30,945,000	－ 4,960,000
有形リース資産	4,147,440	6,221,160	－ 2,073,720	次期繰越活動増減差額	991,840,968	936,051,509	55,789,459
権利	2,539,984	3,235,487	－ 695,503	(うち当期活動増減差額)	15,638,146	10,788,857	4,849,289
ソフトウェア	3,552,615	2,763,719	788,896	純資産の部合計	1,987,096,240	2,017,138,862	－ 30,042,622
退職給付引当資産	109,926,718	108,958,559	968,159	負債及び純資産の部合計	2,387,891,000	2,411,226,382	－ 23,335,382
差入保証金	19,800,000	19,800,000	0				
施設整備等積立資産	170,580,000	202,580,000	－ 32,000,000				
工賃変動積立資産	29,423,687	26,615,000	2,808,687				
設備等整備積立資産	25,985,000	30,945,000	－ 4,960,000				
修繕積立資産	50,940,000	56,940,000	－ 6,000,000				
備品積立資産	28,970,000	28,970,000	0				
資産の部合計	2,387,891,000	2,411,226,382	－ 23,335,382				

活 動 報 告

一羊園の

ドッグセラピー



5月、一羊園でドッグセラピーが行われ、3頭のセラピードッグがやってきました。当日は、一羊園の利用者さんだけでなく、すずかけ作業所やすずかけ第2作業所の利用者さんも参加し、セラピードッグとのふれあいを楽しみました。今回来てくれたのは、シェパード、ボーダーコリー、ゴールデンレトリバーの3頭。どの子も穏やかな性格で、利用者さん一人ひとりに寄り添ってくれました。利用者さんは、頭をなでたり、そっと手を添えたりしながら、それぞれのペースで犬たちとの時間を過ごし、会場は終始、和やかな雰囲気に包まれていました。

すずかけ第2作業所の

農作業



すずかけ第2作業所では、一羊園が所有する農地で農作業に取り組んでいます。夏野菜や根菜など、さまざまな野菜を育てています。この日はジャガイモの収穫を行いました。スコップで土を掘り起こすと、たくさんのジャガイモが顔を出し、みなさんは一つひとつ丁寧に収穫していました。秋には、作業所の皆さんで収穫祭を行う予定です。

※熊などの野生動物への警戒のため、現在は農地での作業を見合わせています。

すずかけ労働センターの

暑熱対策



すずかけ労働センターでは、暑い時期の熱中症対策として、利用者さんにスポーツドリンクを用意しています。今回は、防災用に備蓄していた飲料水の使用期限が近づいていたため、スポーツドリンクの粉を溶かして準備しました。職員が用意を始めると、休憩中だった利用者さんたちも自然と集まり、率先して手伝います。粉がしっかりと溶けるようボトルを振る利用者さんの笑顔からは、準備の時間そのものを楽しんでいる様子が伝わってきました。

一羊会後援会からご報告

2026年度総会を開催しました

会長 太田 博

いつも後援会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。6月22日、一羊会後援会総会を開催いたしました。当日は24名の会員の方にご出席いただき、議案についてすべて承認されました。ご出席いただいたみなさま、ありがとうございました。

議案終了後、一羊会の職員から事業展開について報告がありました。以下、総会の概要報告いたします。



2025年度事業報告概要

- ①会員の拡充
- 新規入会は個人・団体を併せて5件ありました。会費・寄附は総額 1,472,930円となりました。一羊会への寄附は170万円の予定でしたが、目標叶わず例年通り150万円を寄附いたしました。
- ②事業活動について
- カレンダー販売と募金箱の設置に取り組みました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。
- ③事務局の実務体制について
- 体制は変わらず非常勤1名で対応しました。

2026年度事業計画概要

- ①会員の拡充
- 会員の拡充ならびに継続して加入いただけるよう、引き続き後援会活動のPRを行います。
- ②事業活動について
- 今年度もカレンダー販売と募金箱設置に取り組んでまいります。
- ③施行細則の改定について
- 【第2条】
「委託する職員は部長職の職員2名以上とする。」を廃止。
※体制的に難しいため、今後委託する職員は年度ごとに担当職員を決め、2026年度は秋山部長と田中事務局員が担当します。
- 【第3条】
「会長印は（一社）西宮市手をつなぐ育成会が保管し、印章管理規定に則って管理する。」に変更。
※会計業務の効率化を図るため、会長印を一羊会後援会事務所に隣接する（一社）西宮市手をつなぐ育成会にて保管管理します。
- ④一羊会後援会の今後について
- 2027年度の総会を以って太田会長の任期満了に伴い、後任の選出や後援会の今後について、理事と一羊会で今年度中に審議します。

2026年度 一羊会後援会役員名簿（任期：2026年6月22日～2027年総会開催時迄）（敬称略）

役職名	氏 名	現在の役職等
会 長	太田 博	株式会社GEOソリューションズ 会長
副会長	三浦 昇	社会福祉法人一羊会 前理事長
(新)副会長	宮脇 葉子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 会長
理 事	北本 宝	中澤総業株式会社 会長
(新)理 事	林 大輔	一般社団法人西宮青年会議所 第76代理事長
(新)理 事	梅谷 正子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 前会長
監 事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士
監 事	山口 朱美	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 副会長

2025年度収支決算

貸借対照表

2026年 3月31日現在

単位：円

借 方		貸 方		
科 目	金 額	科 目		金 額
普通預金 三井住友銀行	735,258	未払金	一羊会へ寄付	1,500,000
ゆうちょ銀行	140,956			
ゆうちょ銀行 振替口座	1,017,259			
現 金	57,823			
未 収 金	76,010	当 期 繰 越 金		527,306
資産合計	2,027,306	負債・純財産合計		2,027,306

収支計算書

自2025年 4月 1 日 至2026年 3月31日

収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	増 減	内 訳
会費寄付金収入	1,500,000	1,472,930	△27,070	
会 費	800,000	617,350	△182,650	
寄 付 金	700,000	855,580	155,580	
事 業 収 入	470,000	387,214	△82,786	
募 金 事 業	70,000	54,989	△15,011	募金箱
販 売 事 業	400,000	332,225	△67,775	カレンダー販売
雑 収 入	500	1,315	815	受取利息他
前年度繰越金	492,037	492,037	0	
収入合計	2,462,537	2,353,496	△109,041	

支出の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	増 減	内 訳
事 務 費	120,000	82,721	△37,279	
通 信 費	50,000	12,540	△37,460	郵送料、切手代、 年賀状代
振替手数料	30,000	23,840	△6,160	会費等振替手数料
印 刷 費	20,000	19,250	△750	振替用紙・ 受領証印刷費
会 議 費	5,000	4,200	△800	会議室使用料
消 耗 品 費	5,000	3,011	△1,989	お茶等
雑 費	10,000	19,880	9,880	振込手数料、 残高証明他
事業活動経費	300,000	243,469	△56,531	カレンダー仕入代金等
寄 付 金 支 出	1,700,000	1,500,000	△200,000	一羊会へ寄付
小 計	2,120,000	1,826,190	△293,810	
当期収支差額	342,537	527,306	184,769	
支出合計	2,462,537	2,353,496	△109,041	

2026年度 予算

自2026年 4月 1 日 至2027年 3月31日

収入の部

単位：円

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内 訳
会費・寄付金収入	1,472,930	1,600,000	127,070	
会 費	617,350	700,000	82,650	
寄 付 金	855,580	900,000	44,420	
事 業 収 入	387,214	460,000	72,786	
募 金 事 業	54,989	60,000	5,011	募金箱収入
販 売 事 業	332,225	400,000	67,775	カレンダー販売収入
雑 収 入	1,315	1,500	185	預金利息等
前年度繰越金	492,037	527,306	35,269	
収入合計	2,353,496	2,588,806	235,310	

支出の部

単位：円

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内 訳
事 務 費 支 出	82,721	528,000	445,279	
通 信 費	12,540	20,000	7,460	郵送料、切手代
振替手数料	23,840	25,000	1,160	会費等振替手数料
印 刷 費	19,250	20,000	750	振替用紙印刷費
会 議 費	4,200	10,000	5,800	会議室使用料
消 耗 品 費	3,011	3,000	△11	お茶等
雑 費	19,880	450,000	430,120	供花代、 振込手数料、 残高証明等
事業活動経費	243,469	250,000	6,531	カレンダー仕入代金、 募金活動経費等
寄 付 金 支 出	1,500,000	1,500,000	0	一羊会へ寄付 (建設積立金)
小 計	1,826,190	2,278,000	451,810	
当期収支差額	527,306	310,806	△216,500	
支出合計	2,353,496	2,588,806	235,310	

一羊会から事業展開の報告

一羊会の安田部長より、第7次マスタープランの概要と、目標（ビジョン）達成に向けた具体的な取り組みの説明、またグループホームの統合・再編に関する説明と進捗状況の報告がありました。



寄附のご報告

今年度も一羊会へ150万円を寄附いたしました。

会費や寄付をはじめ、募金をしてくださった方、カレンダーを購入してくださった方、いろいろな形で支えてくださったみなさまへ、心より御礼申し上げます。

今年度もグループホーム建て替えのための資金を集めております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同) (2026年4月1日～2026年6月30日)

*法人

宿間谷昭子 三浦 昇 松枝千尋(3件)
村山俊字 6件

*すずかけ労働センター

西宮グリーン(株) 1件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(3件) 西村 猛 4件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2026年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)
(2026年5月1日～2026年7月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

岩本司法書士事務所 大関エステート(株)
(株)ケージークレセント(2口) 甲南防災設備(株)
西宮市民踊協会 (一社)西宮市薬剤師会
三日月建設(株) (株)メックテクニカ
(株)ヤマサ環境エンジニアリング
上甲子園すずかけ作業所保護者会
すずかけ第2作業所保護者会(5口)
武庫川すずかけ作業所保護者会(10口) 12件

*個人の部

天野朗代 大目修平 大前繁雄
大目修平 岡克明 小川加代子
河津睦子 柏原敏昭 河合万貴子
北川泰寿 興梠嘉根喜 下浦洋子
関本弘子 千翔有峰 善塔勝一郎
副島宏克 瀧川秀樹 田中美英子
西田純子 福田百合子 前川拓郎(5口)
三上展 宮脇葉子 森野和雄
山本加津美 横山潤・正代 吉田幾久世
吉野千栄子 匿名(1名)
すずかけ労働センター保護者会(14口) 30件

2026年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)
(2026年5月1日～2026年7月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

岩本司法書士事務所
大関(株)
法心寺 3件

*個人の部

大目修平 大目修平 岡克明 小川加代子
河津睦子 河津睦子 久保田晴子 堺 敦
下浦洋子 善塔勝一郎 前川拓郎 万竝建二
三上展 宮崎隆行 森野和雄 山本加津美
弓場泰三 吉田幾久世 匿名(1名) 19件



■口座名義 一羊会後援会

■銀行 三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

■郵便振替口座 01190-8-66322

■シンカブル
(クレジットカード・銀行振込決済サイト)

Syncable



※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

※現金振込時の手数料について、振込手数料は後援会負担としておりますが、現金でお支払いの場合は別途110円の手数料がかかります。誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。(ゆうちょ銀行の通帳やカードでのお支払い時には手数料はかかりません)